

計画提案書

(旧會津八一記念館 建物・土地売却に係る募集)

評価項目提案書

1) コンセプト

① 建物・土地利用計画のコンセプト等について、地域性を踏まえながら述べること。

<提案>

■教育とつながる美術館「美術館×教育連携」

・当法人では、絵画、美術・工芸デザイン、グラフィックデザイン、イラストレーションに関する教育を実施しておりますが、それらの教育の一環として、学生が美術館の展示の仕方を学び、教育効果を上げる場としたい。

・未来の文化を創り出す学生が、実際に見て、触れて、体験できる環境を創ることにより、新しい文化・芸術創造の場としたい。また、学生の優秀作品をセレクトして館内に展示・販売し、学生の目標となるようにしたい。



(イメージ)

■市民とつながる美術館「美術館×市民連携」

・来館客のための喫茶スペースを設け、一般開放。市民や観光客のまち歩きを促進することにより、「ヒトと作品」「ヒトとヒトとの出会い」の場としたい。



(イメージ)

1) コンセプト

②、地域の歴史・文化や、新たな文化の活用等についての配慮があれば述べること。

<提案>

■地域とつながる美術館「美術館×地域連携」

・当法人が所蔵する肅燦室（しゅくさんぼう）を展示することにより、実力ある郷土出身作家の認知度を上げ、新潟市民が誇れる存在となるようにする。

【肅燦室】：明治 35 年（1902 年）新潟県生まれの異色日本画家。本名は水鳥太一郎。油絵を黒田清輝、日本画を小林古徑に師事。花鳥・静物・人物画を得意とした。平成 6 年（1994）没、91 才。



・また、小林幸子さんやご当地アイドルなど、新潟市ゆかりの文化人の展示を併せて検討する。

■企業とつながる美術館「美術館×企業連携」

・館内にレンタルスペースを設け、文化イベント（展覧会など）を開催したい企業、団体に貸し出すことを検討したい。より多くの企業に市民とつながる場を提供することにより、より多くの市民に芸術を身近に感じていただく機会を増やしたい。

・特定の曜日や時間帯の入館料を無料にするスポンサー制度の導入を検討したい。企業の協賛によって美術館経営の安定化を図り、より多くの企業がメセナ活動に取り組む仕組みを作り、新しい文化の情報発信する場としたい。



（イメージ）

1) コンセプト

③ 建物の外観維持についての配慮を述べること。

<提案>

■環境とつながる美術館「美術館×環境配慮」

- ・「旧會津八一記念館」は、美術館的な個人顕彰記念館として長年にわたり、新潟市民に愛されてきた場所、建物であるため、極力、現状の外観維持に努める。
- ・築後 40 年が経過しており、建物は老朽化しているため、耐震工事をきちんと実施しなければならない。その結果、外壁や 1 階部分に補強資材が必要になる可能性が高いが、外観を損ねない工夫を施したい。



2) 施設設計

①どのようにして地域住民の生活の質の向上に貢献するか述べること。

<提案>

■市民とつながる美術館「美術館×市民連携」

- ・市民の創作活動（手芸、民芸など）を支援するカルチャースクールを併設し、または、既存のカルチャースクールに貸し出し、市民がじかに芸術活動に触れ、体感することにより、市民参加型の美術館としたい。
- ・カルチャースクールで制作された成果物（手芸、民芸品など）は、館内にて展示・販売し、市民の創作意欲を上げる取り組みとしたい。



(イメージ)

■福祉とつながる美術館「美術館×福祉連携」

- ・当法人の関連法人である医療法人、社会福祉法人と連携し、お年寄りがじかに芸術文化に触れる機会を提供し、介護支援の場としたい。
- ・古い本・写真・新聞等を生活の道具等の民族資料を組み合わせて活用する回想法の場としたい。



(イメージ)

2) 施設設計

②どのようにして地域経済の活性化に貢献するかについて提案すること。

<提案>

■地域経済とつながる美術館「美術館×地域経済連携」

- ・「旧會津八一記念館」の近隣に位置する「砂丘館」「安吾風の館」「旧斎藤家別邸」「新潟市美術館」と特定地域内の公的性格が強い連携組織を構築。美術館同士がつながることにより、個々の美術館の収蔵作品の相互活用を図りたいと考える。
- ・「砂丘館」「安吾風の館」「旧斎藤家別邸」「新潟市美術館」と共同でスタンプラリーを開催、5館のスタンプを集めた方にオリジナルグッズをプレゼントするなどして、相互送客を実現したいと考える。
- ・「にいがたレンタサイクル」事業と連携し、貸出・返却ステーションを設置する。前述した「旧會津八一記念館」「砂丘館」「安吾風の館」「旧斎藤家別邸」「新潟市美術館」はもとより、新潟市全域のまちあるきを促進する場にしたいと考える。



		施設		施設	
建物の用途または業種	美術館	建物・土地代金			
		自己資金	借入金		
施設運営者	当法人	提案価格の	提案価格の		
		100%	0%		
市民が利用可能なスペースの設置について	用途または業種	美術館、喫茶スペース、レンタルスペース			
	想定設置スペース床面積	1階 224.7 m ²	2階 223.9 m ²	※地下は対象外とします。	
テナント入居者の概要 ※該当のある場合のみ記入してください	耐震補強経費				
	自己資金	借入金			
	10%	90%			
	350万円	3,150万円			
	合計	3,500万円			
	建物の改修費（耐震補強を除く）				
自己資金	借入金				
10%	90%				
225万円	2,025万円				
合計	2,250万円				
耐震補強予定着工時期	平成 27 年 11 月 1 日				
耐震補強予定竣工時期	平成 28 年 3 月 1 日				
耐震補強以外の予定着工時期	平成 27 年 12 月 1 日				
耐震補強以外の予定竣工時期	平成 28 年 3 月 1 日				
営業または運営開始時期	平成 28 年 4 月 1 日				
取引金融機関				未定	

※ 2つ以上の用途または業種がある場合、記入欄を増やすか本書を複写して記入してください。

※ 1建築物に複数テナントが入居する場合は、同一の様式に記入してください。

※ 売買契約締結日から3年以内に供用を開始する必要があります。

赤枠内は、平成28年度の誤記
会議中、訂正あり

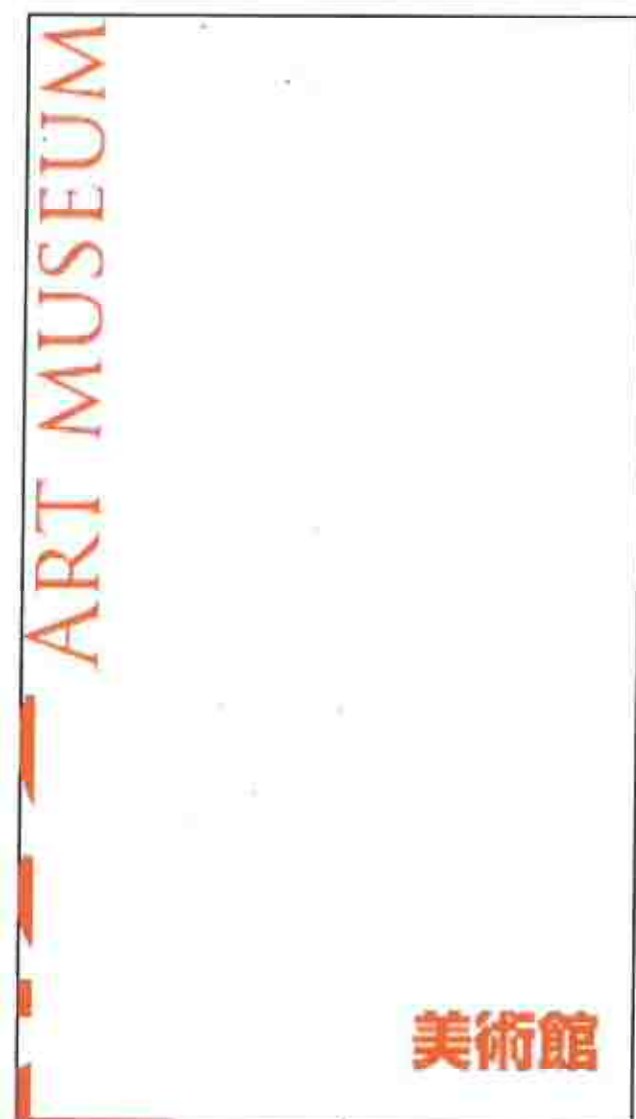
法手続き、設計、施工、完成、営業・運営開始

事業スケジュール

項目	平成27年度								平成29年度				
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月
設 計		購入		見積提出 設計図書完成				耐震改修完了					
耐 震 改 修		構造精査	実施計画										
				2F解体	鉄骨プレス設置	各所改修							
				BF、1F補強									
設 備 改 修		点検調査	改修計画	機器発注	改修								
運 営 計 画		事業計画	収支計画										
展 示 品								搬入・陳列					
喫 茶 室							什器搬入	営業研修					
営 業 ・ 運 営									営業開始				

※記入欄が足りない場合は、記入欄を増やすか本様式にならって書類を作成してください。

イメージ図



美術館

— 1000mm —



現状写真

新イメージ